

# 香港大学專業進修学院 (SPACE)

—先進的繼續教育の事例—

大学経営・政策コース 長 野 公 則

The University of Hong Kong School of Professional and Continuing Education

—A Case Study of Continuing Education—

Kiminori NAGANO

The continuing education arm of the University of Hong Kong is called the HKU School of Professional and Continuing Education (HKU SPACE). In 1956, the University of Hong Kong's Department of Extra Mural Studies was established. This study focuses on the history, programs, and management of HKU SPACE. It shows the distribution of the 1,027 programs by school and the 7 levels of the Qualification Framework. Finally, the study discusses the 3 aspects that should be considered when reviewing Japanese continuing education programs.

## 目 次

はじめに

第1章 香港大学と繼續教育部門の歴史

第1節 香港大学

第2節 香港大学專業進修学院

第2章 香港大学專業進修学院のプログラム

第1節 プログラムの分析—学位・履修証明等のレベル—

第2節 プログラムの分析—博士課程・修士課程レベル—

第3節 プログラムの分析—学位・履修証明等の分野別レベル別分布—

第3章 香港大学專業進修学院の特色

第1節 提携戦略

第2節 定期的マーケット調査の実施

おわりに

はじめに

英国の教育・就職情報会社であるQuacquarelli Symonds社 (QSクアクアレリ・シモンズ社) が公表しているアジアの大学ランキング「Asian University Ranking 2009」では東京大学が3位, 京都大学が5位, 北京大学が10位にランクされている。この「Asian University Ranking 2009」で1位にランクされたのが香港大学である。評価方法としては「アカデミックピ

アレビュー」(30%の比率), 「教授当たりの論文数」(同15%), 「論文引用数」(同15%), 「学生・教授比率」(同20%), 「アジアの雇用者によるレビュー」(同10%), 「国際性」(同10%)の指標毎に評価し加重平均したものを採用している。

大学ランキングの中では最も権威があるとされてきたこのランキングの評価方法についての議論はさておき, 第1位にランクされた香港大学は現在のアジアの高等教育に求められる「ユニバーサル化する教育の機会の拡大」と「教育の質の維持・向上」という二つの問題にどのように取り組んでいるのであろうか。本稿は香港大学が50年に渡って行ってきた香港市民に対する繼續教育に焦点をあて, その歴史, プログラム内容, 経営上の特色を分析することを通じて, 日本の繼續教育についての示唆を探るものである。

## 第1章 香港大学と繼續教育部門の歴史

### 第1節 香港大学

香港大学は1911年に創立された香港を代表する総合大学である。学生数は23,400名(学部生12,150名, 大学院生11,250名 いずれも2008年現在)であり, 香港で最も選抜性の高い学生を擁する。また中国本土と海外からの学生も3,300人と国際性も豊かである。教授陣も一流で45%が海外から採用される。

香港大学の発展は国際都市香港の発展と切り離して

考えることはできない。香港では第二次世界大戦後にまず繊維産業等を中心とした軽工業が芽生えた。日本が高度経済成長を迎える1960年代後半からはアジアの貿易拠点として中継貿易で繁栄する。香港は海運業を中心とした港湾都市であると同時に英語の通じる貿易実務のインフラの整った都市として機能したのである。1970年代80年代にかけてはニューヨーク、ロンドンと並ぶ世界の国際金融都市として更なる発展を遂げる。また中国が改革開放政策のもとに経済発展を世界に向けて歩みだす80年代半ばからは中国との経済取引、金融取引の窓口としての重要性が増すこととなった。1997年に英国から中国に返還され、香港特別行政区となった。

香港は人口密度が高く、また商業集積も香港島と九龍地区の一部に集中している。この過密都市香港に生活する約7百万人の香港市民の伝統的な特質は、勤勉さと向上心そして新しいことに敏感な実質的価値志向である。また香港政庁の時代は英語が公用語であったため、ほとんどの香港人は英語を読み、書き、話し、聴くことができる。香港の経済発展を根底で支えてきたものはこういった香港市民の伝統的特質と言って良いであろう。香港大学は香港という都市の学術の中心であると同時に、その最新の知識と技術を勤勉で質の高い労働力である香港市民に提供し、発展してきたのである。

## 第2節 香港大学專業進修学院

1956年に香港大学は Department of Extra Mural Studies (公開講座部門) を設立した。これが現在の香港大学專業進修学院の前身である。初年度の学生数は330人であったが、1970年代に香港が中継貿易で発展するに伴い、在籍者数は2万人を突破。1980年代に香港が国際金融センター都市として更に発展すると在籍者数は3万人を超えた。1990年代にかけて香港は中国ビジネスの窓口としての機能と充実した金融・ビジネスインフラで一層発展した。1992年香港大学の公開講座部門は「香港大学專業進修学院」と名称を

改めた。英文名称は「HKU School of Professional and Continuing Education (頭文字をとってHKU SPACE)」<sup>1</sup>である。1996年には財務的自立を達成、在籍者数は6万人を突破した。1997年に香港が英国から中国に返還され、1999年には香港大学の傘下の法人として独立した。2000年代に在籍者数が10万人を超えるに至った。

2001年度から2007年度までの在籍者数の推移を示したものが図表1である。学位や履修証明を得られるプログラムとそれ以外のプログラムに分けて示した。

学位・履修証明付のプログラム在籍者数推移を見ると2003年をピークにやや伸び悩みの傾向がみられる。一方、合計では2003年から2005年まで頭打ちの傾向が見られたものの2006年と2007年は11万人を超える水準にまで増加した。

香港大学專業進修学院には学問分野別に3つのカレッジが置かれている。金融、会計、ビジネス、マーケティング等を中心とした College of Business & Finance、人文・社会科学、法学、都市や不動産関連と語学を中心とした College of Humanities & Law、図書館、IT、生命科学、薬学等を中心とした College of LifeScience & Technology の3カレッジである。アカデミックプログラムは、香港大学專業進修学院の執行部を通じて香港大学本体のセネートによってコントロールされる。フルタイムの教職員が900名と約2,000名の非常勤講師がこれらのプログラムを支えている。

本稿では合計で1千を超えるプログラムのうち、博士と修士の学位プログラムをまず分析し、更に学士課程以下に相当するプログラムの名称、レベル、分野別分布を分析する。

## 第2章 香港大学專業進修学院のプログラム

### 第1節 プログラムの分析—学位・履修証明等のレベル—

取得できる学位、履修証明のレベルごとに、香港大学專業進修学院のプログラムを分析する。実際に開講

図表1 2001年度以降の在籍者数推移

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
学位・履修証明付プログラム在籍者数	68,791	74,434	76,839	74,563	73,224	72,489	73,266
学位・履修証明なしプログラム在籍者数	26,573	32,238	30,459	30,864	33,744	39,219	38,725
合計在籍者数	95,364	106,672	107,298	105,427	106,968	111,708	111,991

出典：香港大学專業進修学院ホームページ 単位：人

されるプログラムは見直しや変更が加えられる場合もあるが、ここでは2009年9月6日現在公表されている開講プログラムに基づいて分析を行う。

香港大学專業進修学院で開講されているプログラムは、取得できる学位や履修証明のレベルは香港特別行政区政府が定める Qualification Level の7段階の2から7までに分布する。レベルは中華人民共和国香港特別行政区政府教育局「資歴架構 (Qualification Framework)」に基づく。諸産業で要請される学位等の履歴をアカデミックなものと同専門職業との両方をカバーしフレームワークとしたもの。(2008年5月公式設定)<sup>2</sup>

## 第2節 プログラムの分析—博士課程・修士課程レベル—

博士學位レベルは極めて限られており、教育博士(終生教育)と社会科学博士の二つのプログラムがある。教育博士(終生教育)は、既に修士の学位を持ち、2年以上の教育実務経験を持つ履修者を対象に最短4年から最長6年で博士學位を取得するプログラムである。英国のノッティンガム大学との提携プログラムである。3年次に進む要件として4つのコア科目を履修する。3年次に進んだ者は更に5万ワードから6万ワードの學位論文を英語で執筆する。社会科学博士は英国のレイチェスター大学との提携プログラムで、既

に修士の學位を持つものを対象に最短4年最長6年で社会科学博士の學位を取得するコースである。社会科学の研究分析手法の4つの方法論を最初の8カ月で履修したあと11の特定テーマから4つを選択して約18カ月の課程を履修する。これらを経て5万ワードの學位論文を英語で執筆する。このコースは遠距離履修が可能である。

修士學位レベルは41のプログラムがある。これらを設置されている三つのカレッジ別にかつ継続教育の職業分野別に分析する。香港の都市の特性を反映して最も特徴的な分野はCollege of Business and Financeに属する分野である。このカレッジには会計、金融、経営、マーケティングが含まれる。会計の分野では会計学(專業)修士のプログラムが一つ設けられている。これは東北財経大学との提携プログラムである。税法、管理会計、財務分析、会計のIT化等を履修し、修士論文を執筆する。この会計学は中国の会計制度に適合したものである。金融の分野では、アメリカのミンガン大学ディアボン校との提携で金融サイエンスの修士プログラムがある。必修科目としてコーポレートファイナンス、投資プロセス分析、適用数理モデル、財務資料分析等を含み、選択科目として企業価値と戦略、デリバティブズとリスクマネジメント、債券論等の専門的かつ実務的な内容に特化したプログラムである。入学要件としてアメリカの学士課程學位に相

図表2 香港大学專業進修学院における得られる學位・履修証明等のレベル

レベル <sup>3</sup>	學位・履修証明のレベル	プログラムで得られる資格の英文名称レベル
7	博士學位	Doctorate Degree
6	修士學位等	Master's Degree Postgraduate Diploma Postgraduate Certificate
5	学士学位等	Honors Degree Graduate Diploma, Graduate Certificate Ordinary Degree Advanced Professional Diploma
4	準学士等	Associate Degree Higher Diploma, Advanced Diploma Professional Diploma
3	Diploma	Diploma Higher Certificate Advanced Certificate Advanced Professional Certificate
2	Certificate	Certificate Professional Certificate Intermediate Certificate Foundation Certificate
1	該当レベルなし	香港大学專業進修学院では該当プログラムなし

出典：香港大学專業進修学院プログラムから作成。

レベルは中華人民共和国香港特別行政区政府教育局「資歴架構 (Qualification Framework)」から。

当する学位の保持者でかつ関連するビジネス分野で2年以上の実務経験があることまたは金融分野で1年以上のフルタイムの専門職の実務経験を必須としている。経営の分野では英国のエジンバラのナピエル大学と提携したマネジメントのリーダーシップの修士プログラム、英国ロンドン大学のRoyal Holloway School of Managementと提携した国際経営のMBAプログラム、国際経営のMaster of Scienceプログラムがある。国際会計金融、国際マーケティング、国際経済、国際人事管理等を科目とする。更にホテル経営の修士プログラムが経営の分野に設けられている。英国のサリー大学と提携したこのプログラムはホテル運営のオペレーション、デリバリー、マネジメント、戦略に特化したプログラムである。消費者行動、リサーチ方法論、マーケティング、戦略論の必修コアカリキュラムと金融マネジメント、組織行動、ホスピタリティとツアリズムのオペレーションシステム等の専門科目群からなる。マーケティングの分野では三つのプログラムがある。英国のナピエル大学と提携したマーケティング修士、サリー大学と提携した小売マーケティング修士、同じくサリー大学と提携した旅行業マーケティング修士である。

修士課程のプログラムはCollege of Humanities and Lawでも開講されている。このカレッジには人文科学、社会科学・都市学・教育学、法学等の学問分野が属する。人口密度が高く高層住宅と商業集積が早くから発達した香港では都市と不動産に関するアカデミックな学問とプロフェッショナルな学問が発達してきた。香港大学本体の大学院に都市計画デザインデパートメントがあり、学際プログラムとして建物経営管理修士の学位がある。香港大学専業進修学院の修士課程プログラムとしてこの修士学位を取得することができる。香港大学の学士課程レベルの学位または相当の学位を保有しているかあるいは香港大学専業進修学院の建物経営管理のDiplomaあるいはProfessional Diplomaを保有しかつ5年以上の関連実務経験を有しているか等が必要出願要件である。平日の夜と土曜日に約2時間ずつ2年半で修了するプログラムである。アカデミックストリームとプロフェッショナルストリームが用意されている、後者は現役の建物経営管理の実務に携わっていることが必要出願条件である。また現代の国際都市では職場の環境と安全の確保は重要な関心事であることから職場衛生修士のプログラムがある。この修士を取得すると香港特別行政区政府の工場企業安全規則上の安全管理士に登録申請する資格を得ること

ができる。また香港の職場環境安全衛生協会の会員に登録することができる。このプログラムは英国のグリニッジ大学との提携プログラムである。香港の主要産業の一つである不動産関連の修士学位プログラムではこれらの他に同じくグリニッジ大学との提携でプロジェクト管理、施設管理、リアルエステートの三つのプログラムがある。それぞれ実践的な修士である。また英国のバース大学と提携で国際建築管理学の修士のプログラムがある。このプログラムの修了者は香港のほかオーストラリア、英国でのキャリアが展望できる。これらの不動産関連の修士プログラムは非常に充実している。不動産関連以外では英国のミドルセックス大学との提携で公共政策のDiploma保有者向け修士プログラム、アメリカのカリフォルニア州立大学のフラトン校との提携のコミュニケーション修士のプログラム、英国のレイチェスター大学との提携の人事管理の修士のプログラムがある。

三つ目のカレッジであるCollege of Life Sciences & TechnologyではIT分野と図書館、医学薬学の分野に修士課程がある。インフォメーションテクノロジーの修士はオーストラリアのチャールズスタート大学との提携プログラムである。他の学部を卒業しデータプロセッシングとインフォメーションマネジメントにコンピュータを用いる仕事に従事する学士課程卒業生のためにデザインされている。コンピューターサイエンスやインフォメーションテクノロジーを専門とする学士課程卒業生はこの修士プログラムの6ユニットを免除される。次に図書館と資料管理の修士プログラムについて述べる。このコースもオーストラリアのチャールズスタート大学との提携プログラムである。医学研究所の専門スタッフのためのバイオケミカルの修士プログラムでは毒物学、病理学、分子生物学、細菌学、血液学等についてプロジェクトスーパーバイザーが1対1について2年間で履修する。学位はナピエル大学のバイオメディカルサイエンスの修士学位であるがリサーチプロジェクトを含むすべてのモジュールに合格することが必須要件である。栄養学の分野の修士は英国のウルスター大学との提携プログラムが2種類ある。薬学関係の修士は3種類設けられており、うち二つのプログラムは英国のサンダーランド大学との提携である。食物の安全管理の分野ではウエールズ大学のカーディフとの提携プログラムである。認知症の看護の修士プログラムは4年間で履修する。学位は英国のスターリング大学の学位である。スポーツトレーニングの修士は北京体育大学、スポーツマネジメントの修

士はアメリカのオハイオ大学との提携プログラムである。また中国薬学の修士プログラムも3件設けられている。

以上の博士課程・修士課程レベルの分析では大学院レベルのプログラムに焦点を当てて分析した。学士学位以下のレベルでは、プログラムのレベルと得られる学位や履修証明がきめ細かく分かれている。博士学位と修士学位を含め、香港大学專業進修学院のプログラムを三つのカレッジに分けて分析する。

### 第3節 プログラムの分析—学位・履修証明等の分野別レベル別分布—

本節では第2節で述べた博士課程・修士課程レベルを含め香港大学專業進修学院全体のプログラムの分布

を、カレッジ別レベル別に分析する。

A : College of Business & Finance

金融, 会計, マーケティング, コーポレートガバナンス, ビジネススタディ等

B : College of Humanities & Law

法学, 哲学, 教育学, 心理学, 社会科学, 建築学, 都市計画, 不動産管理, 物流管理, 人材研修, コミュニケーション, 言語, 翻訳等

C : College of LifeScience & Technology

Information Technology, 図書館, 情報科学, 生命医療科学, 薬学, 中国薬学, 看護, 栄養学, 食物, 産業安全管理, 環境科学, 余暇スポーツマネジメント等

全体で1,027のプログラムがあり, 学位も履修証明

図表3 学位・履修証明等のレベル別プログラム数分布

レベル	学位・履修証明等		A	B	C
7	博士学位	Doctorate Degree	0	2	0
6	修士学位等	Master's Degree	10	11	20
		Postgraduate Diploma	9	17	16
		Postgraduate Certificate	—	5	4
5	学士学位等	Honors Degree	7	10	15
		Graduate Diploma	—	3	—
		Graduate Certificate	—	—	—
		Ordinary Degree	10	4	5
		Advanced Professional Diploma	2	—	—
4	準学士学位等	Associate Degree	—	—	—
		Higher Diploma	—	—	1
		Advanced Diploma	13	15	12
		Professional Diploma	6	8	3
3	Diploma	Diploma	4	11	16
		Higher Certificate	—	1	1
		Advanced Certificate	2	17	5
		Advanced Professional Certificate	—	—	—
2	Certificate	Certificate	13	40	23
		Professional Certificate	3	—	2
		Intermediate Certificate	—	6	—
		Foundation Certificate	4	17	15
4以上	Executiveコース	Executive Diploma/Certificate	33	9	8
なし	短期コース	Short Course	126	300	163
合計			242	476	309

出典：レベルは中華人民共和国香港特別行政区政府教育局「資歷架構 (Qualification Framework)」から。諸産業で要請される学位等の履修をアカデミックなものと同専門職業との両方をカバーしてランク化してフレームワークとしたもの。(2008年5月公式設定)

The accreditation of Academic and Vocational Qualifications Ordinance に基づき the Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational QualificationsがQualification Frameworkについて権限を有している。

香港大学專業進修学院プログラムサーチ (2009年9月17日現在) に基づき作成

も出ないショートコースが過半の589を占める。BのCollege of Humanities&Lawがプログラム数で最も多い。これは人文科学、社会科学の広範なプログラムをベースに語学関係や書道等の伝統的たしなみ、香港特有の不動産管理実務関係など幅広い分野を持つカレッジであるためである。AのCollege of Business&Financeでも各レベルにプログラムが分布しているが、Executive Diploma, Executive Certificateの得られるプログラム（レベル4以上が一般的である）の多いのが特徴である。CのCollege of LifeScience & Technologyでは薬学、看護、栄養学やITを分野を含むため、各レベルに広くプログラムが分布する。

**第3章 香港大学專業進修学院の特色**

**第1節 提携戦略**

香港大学專業進修学院の特色の第一は、提携パートナーを効果的に活用していることである。香港大学專業進修学院は四つのカテゴリーの提携パートナーを有している。①香港の地元の専門職団体等のパートナー、②中国本土の大学と専門職団体、③海外の大学と専門職団体、④香港大学の本体の四つのカテゴリーである。

**① 香港の地元の専門職団体**

実際に開講されているプログラム数の多い順に整理したものが図表4である。

**② 中国本土の大学・専門職団体との提携。**

実際に開講されているプログラム数の多い順に整理したものが図表5である。

**③ 海外の提携大学・専門職団体**

実際に開講されているプログラム数の多い順に整理したものが図表6である。

**④ 香港大学本体**

香港大学本体は最も重要なパートナーである。これらの提携パートナーを効果的に活用することは、香港大学專業進修学院のプログラムの質を維持すると同時に、香港大学本体の学位の質の維持にも役立つスキームと行うことができよう。

**第2節 定期的マーケット調査の実施**

香港大学專業進修学院の特色の第二は、香港の社会人学習のマーケット調査を定期的の実施していることである。第一の特色である提携パートナーの効果的活用が供給面での特色であるとすれば、このマーケット調査は需要面の時々の動向を常に把握することを目的とするものである。2000年7月付、2001年10月付の

**図表4 香港の専門職団体との提携パートナー**

開講プログラム数	提携専門職団体
4	HK Institute of Marketing
3	Chartered Institute of Marketing
2	HK Library Association
1	Against Child Abused Limited HK institute of Medical Laboratory Sciences HK Quality Assurance Agency HK Retirement Schemes Association HK Securities Institute Hong Kong China Internship association Six Sigma Institute Ltd The Outstanding Young Persons, Association
提携はあるが 開講なし	Asia Academy Sport and Fitness Professional Ltd. Hewlett-Packard HK SAR Limited HK Infection Control Nurses HK institute of Chartered Secretaries Hong Kong Association of Careers Masters Guidance Masters Hong Kong 舞踊總會 Oracle University Po Leung Kuk Sun Hung Kai Financial Group The Census and Statistics Department The HK Economics Times

出典：香港大学專業進修学院プログラムから作成

図表5 中国本土の提携大学・専門職団体

開講プログラム数	提携大学・専門職団体
3	東北財経大学
1	北京体育大学 Hubei College of Traditional Chinese Medicine 清華大学
提携はあるが開講なし	北京中医薬大学

出典：香港大学專業進修学院プログラムから作成

図表6 海外の提携大学・専門職団体

開講プログラム数	提携大学・専門職団体
9	Curtin University of Technology, Australia Middlesex University, UK
6	Lead College :London School of Economics and Political Science University of London, UK
5	The University of Greenwich, UK
4	Charles Sturt University, Australia Edinburgh Napier University, UK University of Sunderland, UK
3	University of Sunderland, UK University of Surrey, UK University of Ulster, UK
2	Manchester Metropolitan University, UK Royal Holloway School of Management, University of London, UK University of Leicester, UK University of London, Goldsmiths College, UK
1	Associated Bodies of the Royal School of Music California State University, Fullerton, US Dalhousie University, Canada Kingston University, UK University of Bath, UK University of Hull, United Kingdom University of Michigan-Dearborn, US University of Nottingham, UK University of Strathclyde, UK University of Wales Institute, Cardiff Association of International Accountants (AIA)
提携はあるが開講なし	Institute of Administrative Management(IAM) Monash University, Australia Queen Mary, University of London, UK University of Newcastle upon Tyne 大阪大学（前身の一つである大阪外国語大学との日本語の提携） University of Wollongong, Australia Victoria University, Australia

出典：香港大学專業進修学院のホームページから作成

図表7 香港大学のパートナー

開講プログラム数	香港大学の学部等
2	都市計画デザイン学部
1	建築学部、不動産・建設学部、中国薬スクール
提携はあるが開講なし	ビジネス経済学部

出典：香港大学專業進修学院のホームページから作成

マーケット調査に続き、2006年10月付、2008年7月付の調査レポート<sup>4</sup>を発表している。

2008年7月付の「Survey on the Demand for

Continuing Education in Hong Kong 2007/2008」(香港大学專業進修学院が調査実施)には以下の内容が示されている。

1. 香港市民のうち18歳から64歳のフルタイム学生を除く社会人のうち、継続教育への参加比率は25%であった。この比率から香港の継続教育の想定人口は123万人である。
2. 今後継続教育に支出したいと考える年間の金額は、平均で1人当たり11,426香港ドルであった。円に換算すると1人当たり年間13万4千円である（1香港ドル=11.7円。2009年9月11日実勢相場換算。以下同じ）。香港の継続教育の想定授業料収入総額は141億香港ドル（1,650億円）である。
3. 継続教育のうち74%がフルタイムで仕事を持つ社会人である。
4. 18歳から24歳までの若年層に限定すると、継続教育の参加希望比率は41%で最も熱心なグループである。
5. 学位や履修証明などのつかないNon-Award Bearingのプログラムへの参加希望が55%で最も多いという結果であった。
6. 継続教育を受けたい理由は、個人的興味（44%）、仕事上の能力改善（37%）、新しい技術の習得（37%）の順であった。
7. 学びたい科目は言語が21%で最も多く、次いでIT(13%)、ビジネスマネジメント（9%）であった。
8. 継続教育の履修者のうち「Continuing Education Fund」等の種々の政府による奨学金援助スキームを受けている割合は31.3%であった。雇用主から費用援助を受けたことがある割合は約11%という結果であった。
9. オンライン学習に肯定的な態度の回答者は約40%であったが、その84%はオンラインと対面学習のブレンド学習が好ましいと回答した。
10. 18歳から64歳のフルタイム学生を除く社会人のうち継続教育に参加している比率25%は、2005年の同じ調査の28%よりわずかに減少した。しかし、年間想定支出は117億香港ドルから141億香港ドルに20%増加した。
11. 2005年と変わらず、学位や履修証明のつかないプログラムが最も一般的に志向されている。
12. コースの情報をインターネットやe-mailで得る率は2003年の13%から43%に顕著に上昇した。

こうした具体的な内容のサーベイを定期的を実施することが、1千を超えるプログラムの質の維持と効率的運営の基礎をなすものである。

## おわりに

以上の香港大学の事例から日本の社会人教育が学ぶべき点を三点挙げる。第一は、都市の立地特性である。社会人教育プログラムの事例で最も焦点を当てて分析すべき事項は、都市の立地特性である。香港の場合は、第二次世界大戦後、まず英国の植民地として軽工業と中継貿易の基地として栄え、70年代後半からはアジア最大の金融センターとしてシンガポールと並んで飛躍的に発展する。更に中国とのビジネスの窓口で英語のビジネスインフラの整った都市としてゆるぎない発展を遂げる。こういった都市の歴史と伝統が都市の立地特性の重要な部分である。東京のコアのビジネスエリアほどの面積に約500万人の18歳から64歳の人口を擁する。人口密度が高く、商業集積の密度も高い。ビジネスエリアと居住地域が近接して地下鉄等の交通機関も発達しているといった都市構造も重要である。

第二は、その都市の社会構成員の意識である。学位や履修証明を得ようとする者に対する職場の積極的な評価、あるいは転職によるキャリアアップを前向きにとらえる社会構成員の意識が、社会人教育プログラムを長期的に継続させるための重要な要素の一つである。

第三は、社会人向けプログラムの内容と変化の激しい社会の実務的知識要請との関係を継続的に再構築する仕組の重要性である。社会人プログラムを長く発展させるためには、大学の伝統や理念に沿ったものであることと同時に実際の社会との質的適合性が必要であろう。

大学本体が学術的に発展して行く一方で、基盤を置く知識産業社会も時代とともに変化する。同時に立地している都市が世界に占める位置も時代とともに激しく変化する。社会的な関連性、適切性の観点から研究や教育の在り方を絶えずチェックすることは、伝統のある大学であればあるほど容易なことではない。香港大学の学位のアカデミックな質と香港大学専業進修学院のプロフェッショナルな質的適合性を持続的に維持する巧みな仕組みは、一朝一夕にできあがったものではない。これは伝統と社会的要請への適合努力の積み重ねに支えられたものである。日本の大学においても、立地する都市の特性、社会構成員の意識、社会的要請、大学の伝統や理念を踏まえた新しい挑戦的継続教育の試みのなかから、それぞれの大学にふさわしい運営の仕組みが構築されることが期待される。



(指導教員 金子元久教授)

### 注

- 1 1992年の英国の継続・高等教育法 (Further and Higher Education Act,1992) の施行によって、イングランドとウエールズのポリテクニク、さらにスコットランドの類似機関合計40校が大学 (University)の名称と地位を得た。(この同じ法律で) 教育訓練を軸とした生涯教育の体系化を、英国ではContinuing Educationと表現した。(矢口悦子 1998)
- 2 「The accreditation of Academic and Vocational Qualifications Ordinance」に基づき「the Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications」がQualification Frameworkについて権限を有している。
- 3 香港特別行政区政府が定めるQualification Levelが7段階で定義されている。
- 4 例えば2006年10月レポート発表の調査は2005年12月から2006年1月にかけて電話インタビューの形で実施され、59%の応答率で1,505のインタビューを実施している。1991年に開発された調査項目を1999, 2001, 2003の各年にマイナーな改定を行って基本的に継承している。

### 参考文献

- 金子元久 2008 「大学・大学院教育への社会人参加」『IDE 2008年7月号』
- 東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策コース 2008 「大学院職業人プログラムの現状と大学経営への含意」
- 香港大学ホームページ <http://www.hku.hk/> 2009.9.17
- 香港大学專業進修学院ホームページ <http://hkuspace.hku.hk/about/about.php?action=intro> 2009.9.17 他
- 矢口悦子 1998 『イギリス成人教育の思想と制度—背景としてのリベラリズムと責任団体制度』新曜社
- HKU Space 2007/2008 *Survey on the Demand for Continuing Education*  
他